

JCHO可児とうのう病院の「いま」を伝える

2017.4

HATOBUKI

Vol.18

はとぶき



特集

JCHO可児とうのう病院・泌尿器科
地域有数の内視鏡手術実績を誇る

健康ナビ VOL.7

「LOX-index®(ロックスインデックス)」って何?

医療連携室だより VOL.18

みなもり内科クリニック／宗宮整形外科

はとぶきホットライン VOL.17

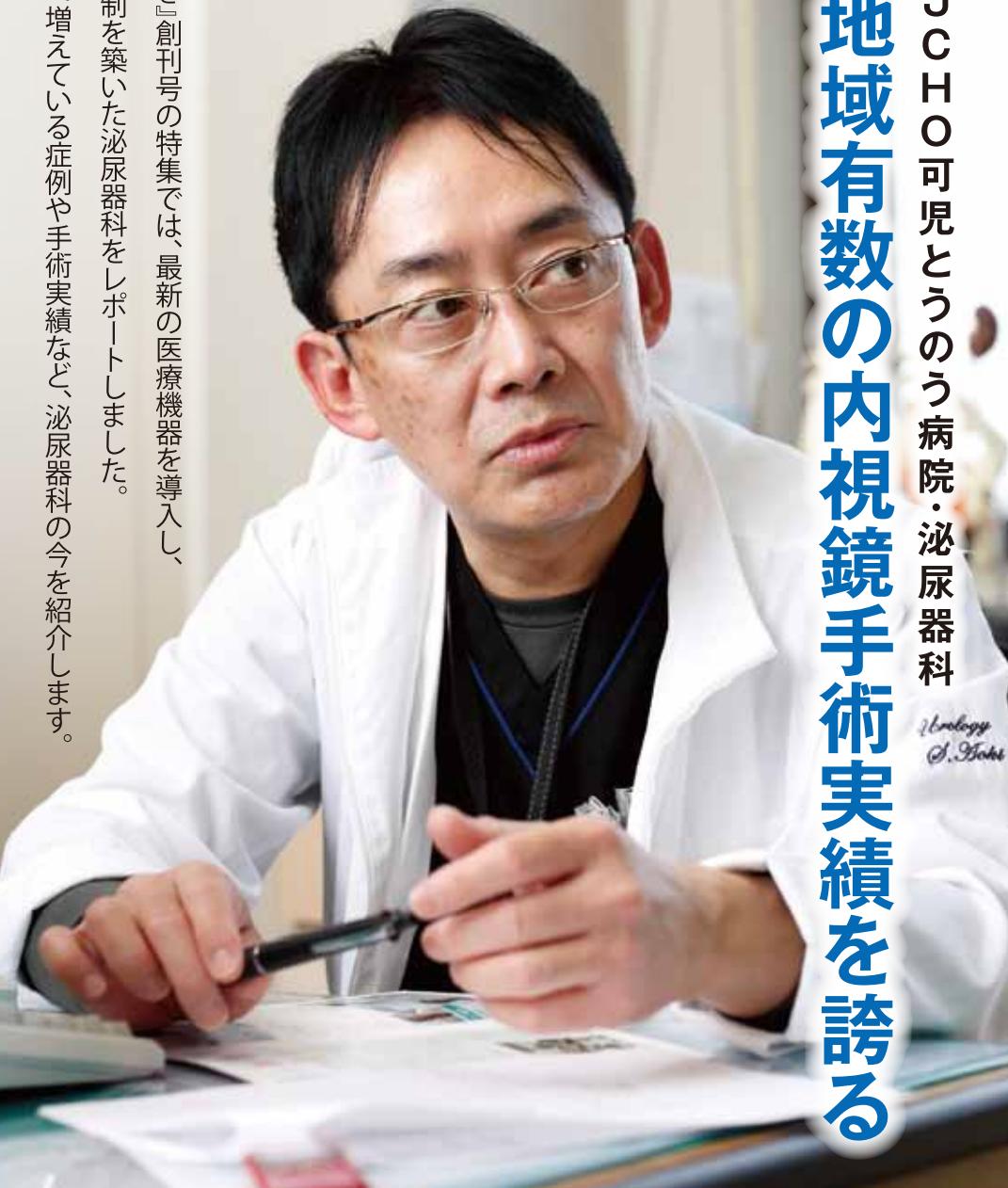
四季の健膳

コロコロランチ(ビーフコロッケ)

地域包括支援センターが新たに稼働

特集

JCHO可児とうのう病院・泌尿器科 地域有数の内視鏡手術実績を誇る



本誌『はとぶき』創刊号の特集では、最新の医療機器を導入し、充実の医療体制を築いた泌尿器科をレポートしました。
あれから5年。増えていく症例や手術実績など、泌尿器科の今を紹介します。

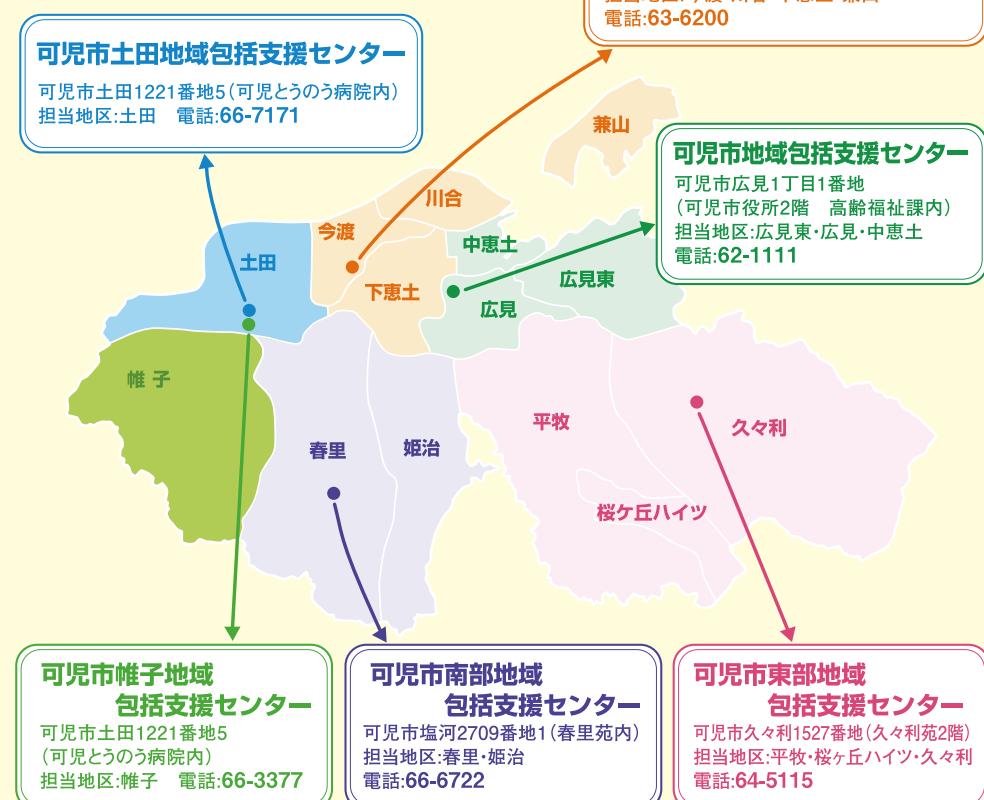


4月3日、開所式が開かれ、新事務所の内覧会も行われました

地域包括支援センターとは、高齢者やその家族の相談を受けたり、高齢者の心身状態に合わせた支援を提供したりする総合的なサービス拠点です。社会福祉士や保健師、主任ケアマネージャーが在籍し、互いに連携を取りながら支援をしていきます。

今年4月より、JCHO可児とうのう病院では土田地区を担当する「可児市土田地域包括支援センター」、帷子地区を担当する「可児市帷子地域包括支援センター」、また、「附属居宅介護支援センター」を訪問介護ステーションのある建物に在宅介護の機能を集約した地域包括支援センターを開設しました。今後も地域医療から介護までを担当する総合病院として、機能の充実を図っていきます。

可児市・地域包括支援センターMAP



Information

- 相談方法:電話、訪問、来所(事務所を留守にする場合がありますので、事前にお電話をいただきご来所ください)
- 相談時間:平日8時30分~17時15分(土・日曜日、祝日、年末年始は休み)
- 利用料:無料 ※個人のプライバシーは固く守られます。安心してご相談ください

レーザーを使用した手術など 技術的に高度な治療にも対応

「当院の特徴として、内視鏡手術数の多さがまず挙げられます。たとえば、膀胱腫瘍に対する

TUR-BTという内視鏡手術は、昨年101件行われています。この数は岐阜県内で4番目くらいになると思います。手術全体を見て月に約25件、年間で300件を数えます。なかでもレーザーを使つた手術は、「可児・東濃地域では当院しかやっていません」と泌尿器科部長の青木重之医師は話します。

増加傾向にある疾患に、尿路結石があります。腎臓でつくられた尿のカルシウムと硝酸などの成分が結晶化して石となり、尿路（腎臓、尿管、膀胱、尿道）を詰まらせてしまいます。なかでもレーザーを使った手術は、尿管、膀胱を通じて尿管内に内視鏡を挿入して結石を碎く「経尿道的尿管碎石術」に行っています。直接モニターを確認しながら、レーザーで結石を碎いて除去していくため、確実な碎石が可能で、治療効果も高い手術です。

しかし、近年は尿道、膀胱を通じて尿管内に内視鏡を挿入して結石を碎く「経尿道的尿管碎石術」に行っています。直接モニターを確認しながら、レーザーで結石を碎いて除去していくため、確実な碎石が可能で、治療効果も高い手術です。

もう病気です。発症すると激痛を起こすことでも知られています。生

活習慣病とも密接に関係しているとされ、最近増えてきているそう

です。



医師同士、緊密に連携して手術にあたります

尿道結石以外の治療にも適用 レーザーで患者の負担を少なく

同じくレーザーを使用した内視鏡手術として、前立腺肥大症に対する「経尿道的前立腺核出術」があります。標準的な治療法「経尿道的前立腺切除術」に比べ、出血量が少なくて入院期間も短縮できるので患者の負担軽減となるほか、再発の可能性が低く、これまで開腹手術を必要とした大きな前立腺肥大症にも対応できるなど、利点が多い治療法です。

膀胱腫瘍の手術も多くなっています。膀胱腫瘍は良性のものが少なく、大半が悪性腫瘍、つまり膀胱がんです。「自分で見てわかるような血尿があった場合は、膀胱がんの疑いがありますので、来院

最先端のレーザー治療装置。導入したことによって、従来の手術に比べて出血が抑えられ、手術時間の短縮にもつながりました



ベッドに寝たままで、尿路結石の治療が受けられる体外衝撃波結石破壊装置。開腹手術をせずに、体内の結石を砕くことができるため、短時間で治療できます



内視鏡手術件数					
手術名	2012	2013	2014	2015	2016
根治的腎摘除術（鏡視下）	2	10	6	11	6
腎尿管全摘膀胱部分切除術（鏡視下）	5	5	10	5	4
経尿道的尿管碎石術（TUL）	24	48	60	71	77
経尿道的膀胱腫瘍切除術（TUR-Bt）	58	74	78	96	101
経尿道的前立腺切除術（TUR-P）	25	24	23	15	14
経尿道的前立腺核出術（HoLeP）	3	12	13	15	19

して受診してほしいですね」と青木医師。手術は内視鏡を用いて膀胱腫瘍の手術も多くなっています。膀胱腫瘍は良性のものが少なく、大半が悪性腫瘍、つまり膀胱がんです。「自分で見てわかるような血尿があった場合は、膀胱がんの疑いがありますので、来院

膀胱腫瘍を切除する「経尿道的膀胱腫瘍切除術」が行われます。

他院からの紹介患者数も多く 地域の泌尿器科疾患治療に貢献

年を追うごとに増えている手術件数。背景には尿路疾患や膀胱悪性腫瘍の患者の増加に加えて、近隣病院からの紹介患者を多く受け入れていています。その範囲は可児市内に限らず、多治見市や瑞浪市、恵那市、中津川市など東濃全域となっています。

可児・東濃地域の課題として、医師や看護師などの医療資源の少なさが指摘されています。そのなかで、病院同士が互いに役割分担をして、連携を強化しようと機運が高まり、「東濃・可児地域病病

JCHO可児とうのう病院も中心的役割を果たしており、泌尿器科の紹介患者受け入れも、その一環といえるでしょう。

泌尿器科疾患は症状を自覚していくも、なかなか周囲の人々に相談しにくいところがあります。受診に際しても、ちょっと抵抗を持つ人が少なくありません。近年話題の「過活動膀胱」も、ひと昔前までは加齢のせいで、病院にかかることがありませんでした。しかし啓蒙活動が進み、一般にも認識され始め、病院へ行くことをためらっている人たちが、受診するようになります。

前立腺がんの早期発見に有効な「P.S.A検査」は、健診や人間ドックでも受けられますが、頻尿や尿失禁などの排尿に関係する自覚症状がある人は、一度泌尿器科で診察、検査することをおすすめします。

現在、泌尿器科は山田芳彰副院長、青木部長、原浩司医員という3人の常勤医師によって診療が行われています。この3人体制ながら年間300件の手術を行い、10～20人の入院患者を日々診ていているのですから、まさに専門性に優れ、高い技術を有した少数精鋭の泌尿器科なのです。

はと羽キホットライツ VOL. 17

新たな仲間を迎える、地域医療に向き合う

伝わる期待感と使命感 3人の研修医が入職

新年度を迎えた4月、JCHO可児とうのう病院に3人の研修医が入職しました。今後、2年間かけてさまざまな診療科をめぐり、より良い医師となるべく経験を積んでいきます。「この地域の医療に貢献できるように努力します」と三浦隆義医師、野瀬彩登美医師も、「患者様と寄り添える医師を目指して頑張ります」と目標を語ります。

また、橋爪厚洋医師は、「食事がおいしく、好きな工場が近いのも魅力」と地域で暮らしていく期待感を笑顔で話しました。

笑顔で桜の前に立つ新人看護師 これから1年間の卒後臨床研修へ

看護師には、入職後1年間の卒後臨床研修があります。さまざまな病棟を経験しながら、症例に応じた看護の知識や技術を学習する制度です。昨年入職した看護師たちは、研修を終え、一回りも二回りも大きくなつて自身の配属先へと戻りました。「看護部長をはじめ、先輩たちがやさしくサポートしてくれました」「一つひとつ不安を解消しながらクリアしていくので、成長を感じました」との声も聞こえます。

今年、入職した看護師たちはこれから卒後臨床研修です。多くの経験を積み、地域医療に貢献できる看護師になると、桜の前で誓いました。



左から野瀬彩登美医師、橋爪厚洋医師、三浦隆義医師



1_卒後臨床研修の修了式。岸田喜彦院長から、一人ひとりに修了証書を手渡しました 2_卒後臨床研修の様子。1年間かけて、実際の医療現場で経験を積みます 3_今年入職した新人看護師たち



泌尿器科部長の青木重之医師は、泌尿器科学会がその技術を認める「泌尿器腹腔鏡技術認定医」です

医療連携室だより

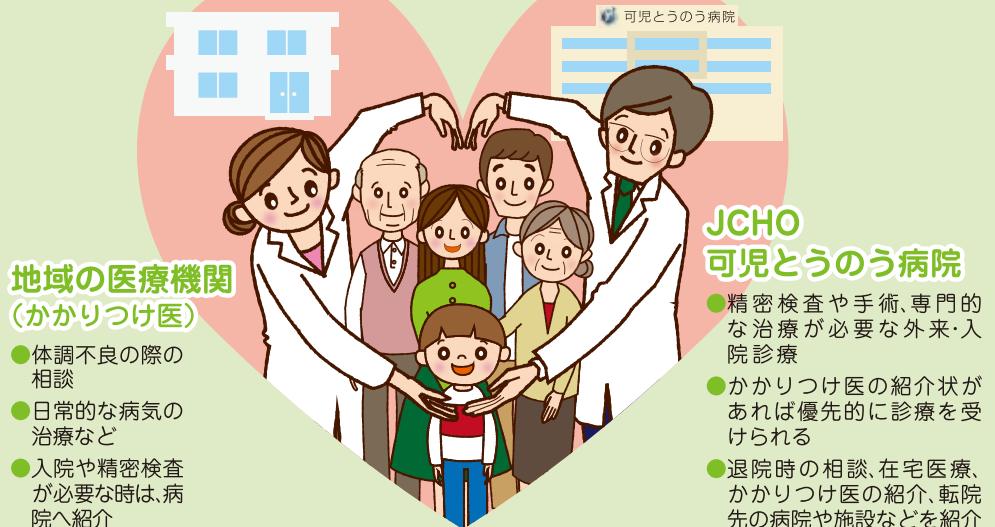
JCHO可児とうのう病院医療連携室では、連携している地域のかかりつけ医との関係を深め、より充実した地域連携を提供できるように努めています。今号は、「みなもり内科クリニック」と「宗宮整形外科」を紹介します。

VOL.18

患者さんの健康を守る地域医療の輪

主治医はふたり

地域のかかりつけ医とJCHO可児とうのう病院の医師が連携し合い、ひとりの患者さんに対して共同で継続的な治療を行います。



「地域へつなぐ」

医療連携室・みどりの窓口では、「介護のことをどこに相談したらよいか」「最近、通院が大変になってきた」などの相談も受け付けています。主治医や他職種とも話し合い、近くの地域包括支援センターや往診可能なクリニックなどと連携を図り、地域でよりよい暮らしができるよう支援を行っています。お困りの際には、お気軽にご相談ください。



患者は整形全般ですが、最近は骨粗鬆症で受診する人も増えてきています



宗宮整形外科

住所 可児市広見36-1

電話 0574-62-8780

診療科 リウマチ科、整形外科、リハビリテーション科

宗宮優院長が目指すのは、オーダーメードの治療。早期に治る子どもの骨折にも、高齢者の退行性変化による疾患に対しても、短期的目標と長期的目標が必要と話します。患者のニーズを聞き取り、積極的に体を動かしてリハビリを促進。「治療に多少の痛みを伴つても、でいる限り早く元の日常生活を取り戻し、少しでも長く維持できるように」と願い、宗宮院長は日々患者と向き合っています。



患者の目標に向けた治療を、患者と一緒に行つていきます。

診療時間

曜日 月 火 水 木 金 土 日祝

9:00～12:00 ○ ○ ○ ○ ○ ○ /

15:00～19:00 ○ ○ ○ / ○ ○ / /

※土曜日は9:00～13:00



落ち着いた雰囲気のクリニックで、スタッフの対応も親切です



みなもり内科クリニック

住所 可児市中恵土1885-1

電話 0574-60-4777

診療科 内科、消化器科、循環器科、小児科

診療時間	曜日	月	火	水	木	金	土	日祝
8:30～12:00	○	○	○	○	○	○	/	
16:30～19:00	○	○	/	○	○	/		



糖尿病予防に、無理なく続けられる運動をしましょう。

みなもり内科クリニックの皆森良明院長は広島県出身。岐阜大学で学んだ後、飛騨の病院で15年勤務し、2001年に可児市で開業しました。内科全般を診ますが、専門は糖尿病で、自身も健康管理をしつかり行い、ジョギングを月に150キロ、スマミングを月に20キロという運動のほか、普段の食事にも気を遣っているそうです。しっかりと話を聞いてくれると評判で、多くの患者から慕われています。



コロコロランチ(ビーフコロッケ)

【材料】4人分

牛ひき肉	80g	小麦粉	適量	いんげん	60g
玉ねぎ	80g	卵	1個	ケチャップ	32g
じゃがいも	240g	パン粉	約30g	ウスターーソース	32g
塩こしょう	適量	にんじん	60g		

【作り方】

- ①牛ひき肉を炒める。火が通ったら玉ねぎを加えて炒め、軽く塩こしょうする。
- ②皮をむき、芽取りをしたじゃがいもを潰しやすい大きさに切り、竹串がスッと通るぐらいに茹でる。
- ③同時に付け合わせのにんじんを茹でてグラッセにしておく。
- ④いんげんも筋を取り、塩茹でしてグラッセにする。
- ⑤じゃがいもに火が通ったらザルに上げ、ボールなどに移し、塩こしょうする。じゃがいもを潰し、①と混ぜる。
- ⑥④を4等分にして、俵型に成形。小麦粉をまぶし、卵を通して、パン粉をつけて、165～170度の油で揚げる。
- ※焼きコロッケにする場合は、あらかじめパン粉をフライパンなどで乾煎りし焼き色をつける。成形したコロッケに小麦粉、卵を通して、焼き色をつけたパン粉を付け、180度に熱したオーブンで15分ほど焼く



調理師の井本幸枝さん

家庭的な手づくり感を意識し、老若男女に楽しんで召し上がっていただける、愛嬌あるメニューを考えました。油を控えたい人は、焼きコロッケにしてもおいしく食べられます。また、カロリーが高くなりますが、コロッケをピラフで挟んで薄焼き卵を巻く、流行の「オムギラズ」にしても楽しく豪華な食事になります。



調理師が考える健康食をご家庭で！

四季の健膳「冬」

JCHO可児とうのう病院で提供する病院食は、当院栄養管理室が献立を決定し調理したもので、そのなかで月に一度、郷土料理や季節を取り入れた特別な献立を提供しています。そのため季節でおいしく、見た目にも食欲をそそる料理を「健康的でおいしく、見えた目にも食欲をそそる料理を」と考えられたメニューを、ぜひ一度つくってみてはいかがでしょうか。

「LOX-index®(ロックスインデックス)」って何？

「あれってどんなふうに治療しているの？」「こんな時どうすればいいの？」など、病院に関わる疑問を解決します。今回は「LOX-index®」について、どんな検査で、どんな人が受けたらよいのか、尋ねました。

脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを評価する最新の血液検査

「LOX-index®」という言葉を初めて聞いた人も多いのではないでしょうか。岐阜県内で導入している病院の数はまだ少なく、JCHO可児とうのう病院でも今年2月から始まった、新しい検査です。

現在、日本人の死因の第2位が「心疾患」、第4位が「脳血管疾患」で、どちらも動脈硬化が主な原因とされています。自覚症状がないまま進行してしまう動脈硬化を早期に発見できれば、脳梗塞や心筋梗塞の発症を予防できます。LOX-index®は、将来の発症リスクを予測する検査なのです。

動脈硬化は病名ではなく、動脈の弾力性が失われて硬くなったり、動脈内にさまざまな物質が沈着して血管が狭くなったりして、本来の構造が壊れ、働きが悪くなる状態を指します。超悪玉コレステロール(LAB)と、酸化LDL受容体(LOX-1)※の結合により、動脈硬化が進行することが近年わかつてきました。

LOX-index®ではこの2つの値を調べることで、将来の脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを評価します。11年間にわたり、約2500人を追跡した研究成果をベースにした検査で、病気診断のためというより、予防に向けた検査といえるでしょう。

「頸動脈エコー検査」などの動脈硬化の程度を調べる他の検査に比べ、LOX-index®は採血するだけと簡単で、時間もほとんどかかりません。結果は、発症リスクのレベル(高リスク、中高リスク、中リスク、低リスクの4段階)をわかりやすく示したグラフで表します。

臨床検査技師長の坂本修二さんは「動脈硬化は生活習慣を改善するだけでも、十分予防につながります。喫煙者や、いわゆるメタボと呼ばれる高血圧や肥満などの

方は、一度検査を受けて、ご自身の動脈の状態を知ることをおすすめします」と呼びかけます。

JCHO可児とうのう病院健康管理センターでは、人間ドッグのオプション検査としてLOX-index®を設けています。採血だけで脳梗塞・心筋梗塞のリスクが判断できますので、動脈硬化が気になる方は、受診してみてはいかがですか。

※血液から異物を取り除く物質



LOX-index®は採血による新しい検査(税込13,000円)です。申し込みや費用などの詳細は、健康管理センター(0574-25-3115)までお問い合わせください



検査報告書には評価グラフのほか、リスクの状態をわかりやすく説明したコメントや、生活習慣改善のアドバイスなどが記載されます

■ 外来診療担当表 平成29年4月1日現在

診 療 科		月	火	水	木	金
内 科	総 合	交替制	交替制	交替制	交替制	交替制
	2 診 (消化器)	渡邊 久倫	清水 達治	印藤 敏彦	清水 達治	印藤 敏彦
		3 診 佐藤淳一		6 診 佐藤淳一	9 診 渡邊久倫	
	3 診 4 診 (循環器)		岩田 敬和	山田 清康		平山 賢志
		横内 一彦	山田 清康	林 尋之	平岩 宏章	横内 一彦
	5 診 (呼吸器)		13:00~ 林 尋之	佐野 将宏		奥村 隼也
	6 診 (神経内科)	井口 洋平	小野寺 一成		小池 春樹	横井 聰
	7 診 (血液)	吉田 均	伊藤 貴彦	吉田 均	山本 秀行	
	8 診 (糖尿病・内分泌)	池庭 誠	代 務		高槻 健介	安藤 敏仁
外 科	1 診	横井 剛	鈴木 和志	瀬古 浩		横井 剛 (一般・乳腺)
	2 診	池山 隆	清水 大輔	清水 大輔	池山 隆	児玉 章朗 (血管外科)
	3 診		岸田 喜彦	鈴木 和志 (乳腺新患)	親松 裕典 (呼吸器外科)	岸田 喜彦
	形成外科(予約制)		2-4週 14:00~ 高成 啓介			
	小児外科(予約制)		14:00~ 岸田 喜彦			
整形外科	1 診	交替制	岡田 貴士	大倉 俊昭	伊藤 定之	交替制
	2 診	中野 健二			中野 健二	
	3 診	松本 明之 (脊椎)	岩月 克之 (手外科)	幸島 寛	鈴木 望人 (リウマチ)	幸島 寛
	午 後					4週 14:00~16:00 川崎 雅史(般関節)
泌尿器科	1 診	青木 重之	山田 芳彰	青木 重之	原 浩司	山田 芳彰
	2 診	森永 憲吾	原 浩司	中村 小源太		
小児科	1 診	金山 恵子	月館 幸一	月館 幸一		金山 恵子
	専門外来(午後 予約制)			1週(小児循環器) 長谷川 誠一		2-4週(神経) 大野 敦子
耳鼻咽喉科	1 診	平野 光芳	平野 光芳	平野 光芳	平野 光芳	平野 光芳
	2 診	櫻井 一生		中島 真幸	田邊 陽介	
婦人科	1 診	片山 宣	新保 曜子	眞鍋 てるみ	石田 千晴	片山 宣
皮膚科	1 診					交替制 完全予約制
脳神経外科	1 診			玉利 洋介		
眼科	1 診	加藤 彩	加藤 彩	加藤 彩	(受付10:30まで) 土井 浩史	加藤 彩

● 外来受付時間 8:30~11:30

● 休診日 土・日・祝日・年末年始

今回の特集は、創刊時と同じ泌尿器科。かつては泌尿器科に受診することは恥ずかしいと考える方が多くいましたが、最近はメディアでの露出が増え、受診する方が増えてきました。ホットラインでは新しく入職した職員を紹介。満開の桜の下で初々しい職員たちを撮影できました。彼らが持つ「地域に信頼される医師、看護師でありたい」という初心を、職員全員が改めて意識し、これからも努力してまいります。